

「出世の館」で浜松発信

浜松市を舞台にした大河ドラマ「おんな城主 直虎」の放映開始に合わせて同市は8日、中区に情報館「浜松出世の館」や観光案内所「直虎インフォメーション」を開設した。直虎機運を盛り上げようと、中心市街地では関連イベントや大河ドラマ初回放送のパブリックビューイングも開催。関係者は大河ドラマを契機とした地域活性化に期待を寄せた。

(浜松総局・宮崎浩一)

「直虎」放映に合わせ開設



くす玉を割ってオープンを祝う関係者ら

118日午前、浜松市中区の「浜松出世の館」

地域活性化に期待

「井伊直虎」「徳川家康」「出世」をテーマにした「出世の館」は中心市街地の旧べんがら横丁北棟に開設した。広さは約550平方メートル。直虎・家康ゆかりの地や観光名所の案内、浜松が生んだ偉人の紹介、土産物の販売などを行い、浜松城など市内名所をバーチャルリアリティ（VR）で体験できるコーナーも設けた。

屋外スペースではテレビゲーム「戦国BASARA（バサラ）」や全国の井伊家ゆかりの地と連携したイベントを開催する。2018年1月31日までの期間限定。午前10時～午後7時。入場無料。

8日のオープニングセレモニーでは鈴木康友市長が「出世のまち・浜松のPRの拠点。直虎効果を追い風に、中心市街地も盛り上

トを開催する。2018年1月31日までの期間限定。午前10時～午後7時。入場無料。

8日のオープニングセレモニーでは鈴木康友市長が「出世のまち・浜松のPRの拠点。直虎効果を追い風に、中心市街地も盛り上

げていきたい」とあいさつ。官民連携組織「おんな城主 直虎」推進協議会長の須賀正孝浜松商工会議所会頭も「出世の館を通じて多くの人に浜松の魅力を知ってもらいたい」と期待し、くす玉を割って開館を祝った。

JR浜松駅構内に設置した「直虎インフォメーション」では常駐スタッフが駅利用の観光客に対し、ゆかりの地の紹介や交通案内を行う。午前8時半～午後4時半。18年1月14日まで。



大勢の来場者でにぎわった「戦国ご当地キャラクターフェスタ」=8日午後、浜松市中区の市ギャラリーモール・ソラモ

戦国キャラクター一堂に浜松でフェスタ

浜松市中区の市ギャラリーモール・ソラモでは、戦国武将に関連する全国のキャラクターが一堂に会する「戦国ご当地キャラクターフェスタ」（市主催）が開かれた。

集まったのは同市の「出世名家康くん」「出世法師直虎ちゃん」をはじめ、「今川さん」（静岡市）、「ひこにやん」（滋賀県彦根市）、「信玄くん」（甲府市）など12体。大河ドラマ「おんな城主 直虎」の放映開始にちなみ、前作の「真田丸」に関連する「真田幸丸」（長野県上田市）、「ゆきむらさま」（和歌山県九度山町）、「ぐんまちゃん」（群馬県）の3体と「直虎ちゃん」が「大河ドラマゆかりの地」の引き継ぎ式を

行い、互いにエールを送った。

12体のほかにも複数のマスコットキャラクターが登場したり、各地の物産観光ブースが設けられたりして、多くの人でにぎわった。